

要 オナガアゲハ



森や林にすみ、春から夏に見られます。日当たりのよい林道沿いを活発に飛び、ツツジなどの花で蜜を吸います。幼虫はミカンの仲間の葉を食べて育ちます。

要 ツマキチョウ



林やその周囲の草地にすんでいます。成虫は春先のみ見られ、オスのはねの先は黄色くつがっています。幼虫はタネツケバナの葉を食べます。

要 ツマグロキチョウ



河川の堤防や畑の周りの明るい草地にすんでいます。成虫のまま冬を越し、春から秋まで見られます。幼虫はマメ科のカワラケツメイなどを食べます。

要 スジグロシロチョウ



林や草地にすみ、春から秋に見られます。成虫は草地上をゆっくりと飛び、タンポポなどの花で蜜を吸います。幼虫はアブラナの仲間の葉を食べて育ちます。

要 ヤマトアオドウガネ



河川敷や海沿いに多くすみ、成虫は初夏から夏に見られます。成虫は全身緑色で丸っこい形をしていて、樹木の葉を食べて生活していると考えられます。

要 シロスジコガネ



海辺のマツ林などにすみ、成虫は夏に見られます。茶色の体に白いたて線模様が目立つ大きなコガネムシです。幼虫は砂地の中で植物の根を食べます。

要 ヒゲコガネ



大きな河川敷などにすみ、夏に見られます。成虫は茶色の体に白い斑点があり、オスの触角（ヒゲ）は先が大きく広がります。幼虫は砂地で生活しています。

要 ヘイケボタル



田んぼや湿地にすむ小型のホタルです。成虫は初夏から夏に見られ、夜には小さな光を点滅させます。幼虫は水の中にすみ、マキガイの仲間を食べて育ちます。

要 ホシアシブトハバチ



山沿いのエノキの周辺にすんでいます。オレンジ色の体に黒い斑点がある大きなハバチです。成虫は春に見られ、幼虫はエノキの葉を食べて育ちます。

要 キイロモモトハバチ



森や林にすみ、成虫は春に見られます。体が黒色から茶色の大きなハバチです。幼虫はハンノキの葉を食べます。地面の近くで集団でまゆをつくります。

要 ホシセダカヤセバチ



森や林にすみ、成虫は春から夏に見られます。体は黒くおなかのつけねに黄色い斑紋があります。メスは長い産卵管でカミキリムシの幼虫に卵を産みつけます。

要 ケブカスジドロバチ



公園や民家の周辺にすみ、春から秋に見られます。コンクリートや石の隙間に泥で固めた巣をつくります。ガの幼虫を捕まえて巣に運びこみ、卵を産みつけます。

要 ハグロフタオビドロバチ



里山林などにすんでいます。よく似た仲間と同じように竹筒などに巣をつくり、ガの幼虫を運びこむと考えられていますが、くわしいことはわかっていません。

要 オオハムシドロバチ



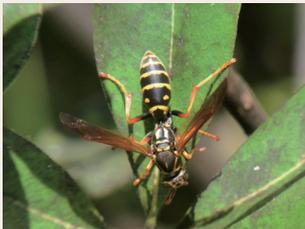
雑木林周辺にすむ、全身黒色で黄色い模様があるハチです。大型のハムシの幼虫を捕まえて運びますが、どのような巣をつくるのかはわかっていません。

要 ハラナガハムシドロバチ



林や草地にすみ、春から夏に見られます。ヨシの茎や細い竹筒の中に泥で固めた巣をつくります。巣にはハムシの幼虫を運びこんで、卵を産みつけます。

要 フタモンアシナガバチ



河原や海辺にすみ、成虫は春から秋まで見られます。植物の陰や石のすきまなど雨のあたらないところに巣をつくり、集団で生活します。

要 モンスズメバチ



林や神社の森などにすむスズメバチです。木の洞に巣をつくり、集団でくらしています。成虫はセミを好んで狩り、幼虫のエサとします。

要 セヅノアリバチ



公園やお寺の森などにすんでいます。アリののような形をしたハチで、オスははねがなくて飛ぶことができますが、メスははねがなく飛ぶことはできません。

要 シロオビハラナグツバチ



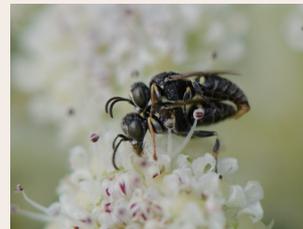
草地や畑にすんでいます。成虫はいろいろな花を訪れて蜜を吸います。メスは土の中にあるコガネムシの幼虫に卵を産みつけます。

要 シロスジキングチ



林やお寺の森などにすみ、木の穴に巣をつくります。成虫は夕方に活発に活動し、いろいろなハエの仲間を捕まえて巣に運びます。

要 サクラトゲアナバチ



海辺の砂浜にすみ、砂地に巣をつくります。春から夏にハマボウフウの花で見られます。成虫はハエの仲間を捕まえて、巣に運びこみ、卵を産みつけます。

要 ニッポントゲアナバチ



海辺の砂浜にすみ、春から夏に活動します。砂地に穴を掘って巣をつくります。成虫はハエやユスリカの仲間を捕まえて巣に運びこみ、卵を産みつけます。

要 アカアシハヤバチ



里山林にすみ、地面に穴を掘って巣をつくります。成虫はバッタやキリギリスの仲間を捕まえて巣に運びこみ、卵を産みつけます。

要 ヤマトスナハキバチ



海辺の砂浜にすみ、砂地に穴を掘って巣をつくります。成虫は小さなセミの仲間のヨコバイを捕まえて巣に運びこみ、卵を産みつけます。

要 カラトイスカバチ



林や草地にすみ、成虫は春のおわりと秋に見られます。体が真っ黒な小さなハチで、木にあいた小さな穴に巣を作ってアブラムシを運びこみ、卵を産みつけます。

要 ヤマトルリジガバチ



林や草地にすみ、竹筒の中に泥で固めた巣をつくります。成虫は深い藍色の体をしていて、クモの仲間を捕まえて巣に運びこみ、卵を産みつけます。

要 ナミルリモンハナバチ



明るい林や草地にすんでいます。黒い体にりり色の毛が所々に生えた美しいハチで、夏遅くから秋にかけて見られます。いろいろな花を巡って、蜜を吸います。

要 ヒロバトガリハナバチ



林や周辺の草地にすみ、成虫は春から秋まで見られます。黒い体に白い毛が生え、しま模様に見え、メスのおなかの先はとがっています。いろいろな花を訪れます。

要 ヤマトハキリバチ



お墓や土手など草が少ない場所にすんでいます。成虫は春に見られ、石のすき間の巣で、切り取った葉でつくったカプセルに花粉をつめ、卵を産みつけます。

要 クズハキリバチ



クズのしげる林の周りにすむハキリバチの仲間です。成虫は夏に見られ、古くて大きな木にあいた穴を巣として使い、主にクズの葉を切り取って運びこみます。

要 キバラハキリバチ



海辺や河川敷の砂地にすんでいます。成虫は夏から秋に見られ、地面に穴を掘って巣をつくり、切り取った葉のカプセルに花粉をつめ、卵を産みつけます。

今 ベッコウトンボ



ヨシが生えた明るい池にすんでいます。成虫は春から初夏に見られ、水辺でなわばりを張ります。はねに3か所の茶色い斑紋があります。

今 ヒメヒカゲ



林沿いの湿地周辺にすみ、初夏から夏に見られます。はねの裏側によく目立つ目玉模様があります。幼虫は湿地に生えるスゲの仲間の葉を食べて育ちます。

今 キフチョウ



明るい林にすんでいます。成虫は「春の女神」とよばれ、サクラが咲く頃に見られ、いろいろな花で蜜を吸います。幼虫はカンアオイの葉を食べて育ちます。

明石いきものコラム

すごいな、明石公園

明石公園は、いろいろな昆虫がいることで有名です。Bランクとされているコカブトムシやクロマダラタマムシ、ウマノオバチなど、森にすむ昆虫が多いことが特徴です。クワガタムシやハナムグリの仲間もたくさんいます。明石公園には大木が多く、利用者の安全に影響しない林の奥には、弱った木や枯木、倒木、折れた枝が、自然な状態に置かれています。芽生えた木が長い年月をかけて土に返るまでの、さまざまな段階があることで、多様な昆虫が生活できるのです。

公園の広い敷地と森林が、豊かな生き物を育んできました。明石公園は明石市民の誇りですね。



明石公園の林

植物

A : 31 種

B : 59 種

要調査 : 11 種

今見られない : 15 種



A コヒロハハナヤスリ



お墓やお寺の境内、湿った道ばたなどに生える高さ 20cm ほどのシダ植物です。葉を 1 ~ 3 枚つけ、それとは別に胞子が入った棒のような形の葉をのぼします。

A デンジソウ



水田や池などに生えるシダ植物です。四つ葉のクローバーに似た形で、「田」という字に似ていることから「田字草」と名づけられました。除草剤の影響で激減しています。

A サンショウモ



水面に葉を浮かべ、土に根を張らない浮草タイプのシダ植物です。冬には枯れてしまいます。葉の形が木のサンショウに似ていることから名づけられました。

A サクラバハノキ



湿地に生える高さ 10m くらいになる木で、サクラに似た葉をつけることが名前の由来です。2 ~ 3 月ごろ花びらのない花をつけます。冬には葉を落とします。

A サデクサ



川沿いや湿地などに生えます。茎には下向きのとげがあり、大きくなると周囲の草に寄りかかります。葉は矢じり形です。夏から秋に白い小さな花をつけます。

A オニバス



ため池に生える水草で、トゲのある大きな葉を水面に広げます。夏に紫色の花を水の上で咲かせますが、水の中にも開かない花をたくさんつけています。

A アゼオトギリ



水田の畦や用水路わきに生えます。茎が数本地面をほうように伸びて、立ち上がると高さ 10 ~ 40cm ほどになります。夏に黄色い花をつけます。

A イワレンゲ



海岸の岩の上、石垣などの乾いた場所に生えます。9 ~ 11 月、高さ 10 ~ 20cm の茎に、白いたくさん花が集まって咲きます。1 度花を咲かせると枯れます。

A ナガボノワレモコウ



湿った草地や畦などに生えます。高さ 80 ~ 130cm で、秋に、小さな花が集まった赤紫色や白色の花穂*をつけま。花には花びらはありません。

A イヌハギ



河原や海に近い日当たりのよい砂地に生えます。茎の下のほうは木のようにかたくなります。葉は 3 枚セットで、7 ~ 9 月にうす黄色の花をたくさんつけます。

A イヌセンブリ



野や山の栄養分の少ない湿地やその周辺に生えます。高さ 30cm ほどで、枝分かれします。9 ~ 11 月に白い花びらにうす紫色の線の入った花をつけま。

*花穂：小さな花が集まって穂のようになったもの

A スズサイコ



日当たりのよい草地に生えます。高さ40～100cmで細長い葉をつけます。夏にうす茶色の花をつけ、夜に開き、日が当たると閉じます。秋に細長い袋のような実をつけます。

A ゴマクサ



日当たりのよい湿地や用水路わきに生えます。高さ30cmほどで、葉は細長い形をしています。8～9月に葉のつけねに黄色い花を1つつけます。

A ノタヌキモ



ため池に生える水草です。茎はよく枝分かかれし、長いと1.5mにもなります。花の茎は水の上に出て、その上の方に黄色い花を数個つけます。

A ミカワタヌキモ



ため池や湿地に生える食虫植物です。細い茎をからめて水中に浮かぶか、湿地に集まって生えます。8～9月に茎を水の上に伸ばし、黄色い花を数個つけます。

A ムラサキミミカキグサ



栄養分の少ない湿地に生える食虫植物です。地中の葉と地上の葉で形が違います。8～9月に10cmほどの茎を伸ばし、小さな紫色の花をつけます。

A オグルマ



湿地や休耕田、川岸などに生えます。高さ30～50cmで、地面の下の茎を伸ばして広がります。8～10月に3cmほどの黄色い花をつけます。

A ミズオオバコ



水田やため池、水路に生える水草です。オオバコに似た葉をつけることが名前の由来です。8～10月に白やうす桃色の花びら3枚の花をつけます。

A ノカンゾウ



水田の畦や野原に生えます。高さ70～90cmになります。幅1cmくらいの細長い葉をつけ、7～8月にオレンジ色の大きな花をつけます。

A モロコシガヤ



明るい草原に生えます。高さ50～100cmで、葉は長さ20～50cm、幅5～10mmの細長い形です。9～11月に茶色の花をつけます。

A センダイスゲ



明るい林の地面に生えます。高さ10～30cmで、茎が地面を長くはいます。8～10月に、上の方が雄花、下の方が雌花である花をつけ、その後実がなります。

A ヌマガヤツリ



湿地、河川敷など、増水の影響を受ける所に生え、高さ30～120cmになります。長い茎から花をつける枝を3～5本出し、茶色の花穂*をつけ、秋に果実が熟します。

A ネビキグサ



海岸近くの湿地や池の畔に集まって生えます。高さ60～100cmで、茎は楕円形です。初夏に茶色い目立たない花をつけます。別名をアンペライといいいます。

A カガシラ



湿地に生える高さ5～15cmほどの小型の草です。2cmくらいの短く細長い葉をつけます。うす黄緑色の目立たない花をつけ、7～10月に熟します。

A キンラン



明るい林の中や林の縁の地面に生える高さ30～70cmのランの仲間です。冬には葉を落とします。5月ごろに黄色い花をつけます。

A サギソウ



日当たりのよい湿地に生える高さ15～40cmのランの仲間です。8月に先端近くに3cmくらいの鳥のサギに似た白い美しい花を1～3輪つけます。

A ミズトンボ



日当たりのよい湿地に生える高さ40～80cmのランの仲間です。7～9月に1cmくらいの特徴的な形のうす黄緑色の花をたくさんつけます。

A エンシュウムヨウラン



林の中の日陰に生える高さ20～30cmの葉をつけない腐生(自分で栄養を作らない)ランの仲間です。5～6月に1.5cmくらいのうす茶色の花を数個つけます。

A フウラン



木の幹や岩の上に生えるランの仲間です。茎は短く立ち、長さ5～10cmほどの細く硬い葉をすまもなくつけます。6～7月に香りのよい白い花をつけます。

A コバノトンボソウ



日当たりのよい湿地に生える高さ20～40cmのランの仲間です。葉はふつう1枚で、6～8月にうす黄緑色の小さく目立たない花を数個つけます。

A トキソウ



日当たりのよい湿地に生えるランの仲間です。葉は茎に1枚だけつきます。5～6月に20cmくらいの花茎をのぼし、先端にピンク色の花をつけます。

B ミズスギ



日当たりのよい水田わきの湿った所に生える、つる性のシダ植物。茎は地面を長くはい、所々で直立した茎を出し、その先に胞子がつまった穂を1～2個つけます。

B ヒメミズワラビ



水田、水路、ため池などに生えるシダ植物です。胞子をつける葉は裏側にそり返って棒のようになり、その他の葉はいろいろな大きさや形をしています。

B イチイガシ



山地に生える高さ10～20mの木です。葉の裏に茶色っぽい毛が生えています。4～5月に雄花と雌花を別につけます。果実(ドングリ)は秋に熟します。

B カワラナデシコ



日当たりのよい草地や河原に生えます。高さ30～80cmで、7～10月に5枚のうすピンク色の花びらを持つ花をつけます。秋の七草のひとつです。